

# 高江洲中ブロック家庭教育部会の取組報告

組織名 ( 中原小学校 )  
 記載責任者 ( 玉城勝一 )

## 1 高江洲中ブロック家庭教育部会の実践目標

- (1) 早寝、早起き、朝ごはんの実践
- (2) てくてく登校の呼びかけ

## 2 実践内容

### (1) 早寝、早起き、朝ごはんの実践

- ①夏休み全児童、全保護者対象に朝のラジオ体操を運動場で行った。
- ②夏休み公民館主催子ども学習塾に職員が激励に出向いた。
- ③食を見直すために、弁当給食の導入。親子講演会2回と実践。

### (2) てくてく登校

#### ①てくてく登校奨励公文の配布

隣近所の児童が連れだって登校するような体制を作って、朝はてくてく登校させていただけませんか。1学年では車で送るのではなく、一緒に歩いて下さると通学路の安全状況や不審者対策にも効果があります。また、てくてく登校は、家庭での「早寝早起き、朝ご飯」につながる効果も出ます。

その他に、徒歩登校が(1)体や脳のウォームアップになる。(2)友人や近所の人とのあいさつの機会が増える。(3)季節を肌で感じる。(4)「登校の責任を自分で果たせた」という「自己有能感の育成」などのメリットもあります。

#### ②公文やじんじんメール等で日常的呼びかけ

#### ③アンケートによる実態調査

## 3 結果と考察

### (1) 早寝、早起き、朝ごはん、てくてく登校のアンケート結果

就寝時間(6月)		
①午後9時より前	12.5%	23人
②9時～10時前	49.5%	91人
③10時～11時前	29.9%	55人
④11時～12時前	6.5%	12人
⑤12時以降	1.6%	3人
就寝時間(12月)		
①午後9時より前	12.0%	22人
②9時～10時前	47.0%	86人
③10時～11時前	32.2%	59人
④11時～12時前	4.9%	9人
⑤12時以降	3.8%	7人

起床時間(6月)		
①6時30分より前	31.5%	57人
②6時30分～7時	45.9%	83人
③7時～7時30分	19.9%	36人
④7時30分以降	2.8%	5人
起床時間12月		
①6時30分より前	23.5%	43人
②6時30分～7時	48.1%	88人
③7時～7時30分	26.8%	49人
④7時30分以降	1.6%	3人

朝ごはん(6月)		
①毎日食べる	81.2%	147人
②週4日以上食べる	13.3%	24人
③週2～3日食べる	3.9%	7人
④ほとんど食べない	1.7%	3人
朝ごはん(12月)		
①毎日食べる	84.1%	153
②週4日以上食べる	9.9%	18
③週2～3日食べる	4.9%	9
④ほとんど食べない	1.1%	2

登校手段調査	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	傾向比率
1.毎日歩いて登校している。	44	50	62	63	52	77	348	63.1%
2.だいたい歩いて登校している。(週3回以上)	19	20	11	22	13	14	99	
3.歩きと車の登校が半々ぐらい。	9	9	19	11	16	3	67	9.5%
4.毎日車で登校している。	26	19	17	19	11	10	102	20.6%
5.だいたい車で登校している。(週3回以上)	11	11	5	7	6	4	44	
6.途中まで車で来ている。(学校近くから歩いている)	8	17	7	5	5	6	48	6.8%

### (2) 考察

- ①早寝早起きてくてく登校についての取組みの強化が必要である。
- ②児童の健全育成には、「食」が最大の基本である。次年度は、「弁当の日」等児童がワクワクする取組みを推進したい。
- ③夏休み地域で行われるラジオ体操には多く児童が参加しそれを機会として子ども会活動へと発展していく流れが見られる。地域で子どもを育てる環境が育ちつつある。
- ④てくてく登校推進の取組みが必要である。